

都市計画事業に要する経費と都市計画税

都市計画税は、都市計画事業(街路、公園、下水道など)の費用に充てるために負担していただく税金です。令和5年度は、街路(久保長江線等)、下水道などの事業と都市計画事業のために借り入れた地方債の償還に充てられました。事業に充当された一般財源に占める都市計画税の割合は、96.9%となっています。

年度	都市計画事業費	地方債償還額	計	充当一般財源A	うち都市計画税B	充当率B/A
R3	974,924	230,863	1,205,787	1,153,383	1,129,851	98.0
R4	992,809	207,037	1,199,846	1,168,295	1,144,578	98.0
R5	1,066,307	198,348	1,264,655	1,188,171	1,151,532	96.9

特別会計決算(見込み)

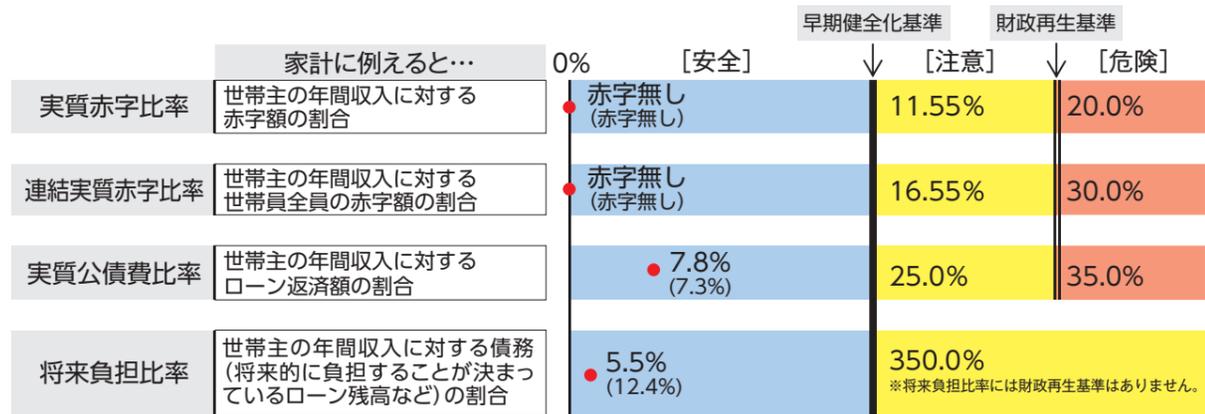
特定の事業を行うために一般会計とは別に独立して経理が行われる会計です。令和5年度は8つの特別会計があります。

区分	歳入額	歳出額	差引額
港湾事業	2億482万円	1億9141万円	1341万円
国民健康保険事業	143億736万円	142億3611万円	7125万円
千光寺山索道事業	8253万円	8253万円	0円
駐車場事業	7908万円	7908万円	0円
夜間救急診療所事業	8163万円	8163万円	0円
介護保険事業(保険事業勘定)	171億6063万円	169億4922万円	2億1142万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	2202万円	2202万円	0円
渡船事業	6086万円	6086万円	0円
後期高齢者医療事業	25億201万円	24億4551万円	5651万円
合計	345億94万円	341億4836万円	3億5257万円

財政の健全度

健全化判断比率

令和5年度決算に基づく各比率は、すべて国の基準を下回っており、尾道市の財政はおおむね健全です。



指標	解説
実質赤字比率	標準財政規模 ^(※1) に対する一般会計等 ^(※2) の赤字の割合
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合
実質公債費比率	標準財政規模に対する公債費 ^(※3) の割合
将来負担比率	標準財政規模に対する市が将来負担すべき負債の割合

- ※1 地方公共団体が標準的な行政サービスを提供するために必要な一般財源(使い道の決まっていな財源)の大きさ。
- ※2 一般会計に港湾事業・夜間救急診療所事業特別会計を加えたもの。
- ※3 地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金。

資金不足比率

公営企業ごとの収入に対する赤字額の割合です。尾道市は、すべての公営企業で赤字は発生していません。今後も、引き続き持続可能な財政運営に努めていきます。

企業会計決算(見込み)

事業で得られる収入で支出をまかなう会計です。水道・下水道・病院の3つの会計があります。

水道事業

尾道上下水道局経営総務課(☎0848-37-8701)

【収益的収支】

事業収益では、給水収益の減少に加えて、水道基本料金減免(新型コロナウイルス感染症に起因する生活支援)に係る一般会計負担金の特別利益計上の皆減により、1億4916万8千円(4.0%)の減収となりました。一方、事業費用では、委託料の減少に加えて、水道基本料金減免に伴う特別損失計上の皆減により、1億6124万6千円(4.5%)の費用減となりました。その結果、収支差引1億4818万8千円の純利益を計上することとなりました。

【主な建設改良事業】

老朽化した管・施設の更新により耐震化を行いました。

損益計算書 R5.4.1~R6.3.31 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	342,800	水道料金収入	3,112,347
物件費	456,930	受託工事収益	3,121
受水費	1,464,217	受託管理収益	125,686
支払利息	66,717	長期前受金戻入	259,685
減価償却費	975,442	その他	102,259
その他	148,676	特別利益	13
特別損失	141		
当年度純利益	148,188		
合計	3,603,111	合計	3,603,111

下水道事業

尾道上下水道局経営総務課(☎0848-37-8701)

【収益的収支】

事業収益では、単価改定に伴う下水道使用料の増加などにより、1億5042万4千円(9.0%)の増収となりました。一方、事業費用では、一部処理場用地の一般会計への無償移管に伴う特別損失計上の皆減などにより、10億6457万3千円(38.2%)の費用減となりました。その結果、収支差引9866万3千円の純利益を計上することとなりました。

【主な建設改良事業】

下水道計画区域内の未普及地区解消や雨水の適正処理のため、高

損益計算書 R5.4.1~R6.3.31 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	127,946	下水道使用料収入	445,444
物件費	462,284	雨水処理負担金	281,978
支払利息	104,014	受託事業収益	167,471
減価償却費	898,597	長期前受金戻入	505,812
その他	129,327	その他	420,212
特別損失	86	特別利益	0
当年度純利益	98,663		
合計	1,820,917	合計	1,820,917

病院事業

尾道市民病院経営企画課(☎0848-47-1155(代))

公立みつぎ総合病院経営企画課(☎0848-76-1111(代))

【収益的収支】

市民病院は、その他特別利益を含め、事業収益76億4038万3千円に対し、事業費用78億4554万4千円で、差引2億516万1千円の損失が生じました。公立みつぎ総合病院は、その他特別利益を含め、事業収益64億6088万1千円に対し、事業費用64億5632万5千円で差引455万6千円の純利益を計上しました。

【市民病院】

地域の医療機関と連携し、医師を中心とした多職種協働によるチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めました。また、高度・多様化する医療需要に対応するため、消化器内視鏡システム等の各種医療機器の更新を行い、病院機能の強化と患者サービスの向上に努めました。瀬戸田診療所では、これまで同様に地域で求められる医療の提供に努めました。

【公立みつぎ総合病院】

地域包括ケアシステムの構築により、救急医療及び疾病の治療から地域住民の健康づくり、介護予防、リハビリテーション、在宅ケア、さらに介護・損益計算書 R5.4.1~R6.3.31 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	8,638,495	入院収益	6,996,137
物件費	1,891,275	外来収益	2,367,973
支払利息	46,222	その他医療収益	2,905,194
その他	3,708,421	その他	1,004,383
特別損失	17,456	特別利益	827,577
当年度純利益	△200,605		
合計	14,101,264	合計	14,101,264

貸借対照表 R6.3.31現在 (単位:千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	25,471,005	固定負債	5,067,267
無形固定資産	2,571	流動負債	877,836
流動資産	3,275,330	繰延収益	4,646,812
		資本金	14,350,906
		資本剰余金	638,270
		利益剰余金	3,167,815
		建設改良積立金	1,500,000
		当年度未処分利益剰余金	1,667,815
		繰越利益剰余金	839,627
		その他未処分利益剰余金変動額	680,000
		当年度純利益	148,188
合計	28,748,906	合計	28,748,906

貸借対照表 R6.3.31現在 (単位:千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	26,532,855	固定負債	9,411,847
無形固定資産	2,780	流動負債	1,541,157
流動資産	1,200,238	繰延収益	13,955,945
		資本金	1,712,661
		資本剰余金	1,124,954
		利益剰余金	△10,691
		当年度未処分利益剰余金	△10,691
		繰越利益剰余金	△109,354
		当年度純利益	98,663
合計	27,735,873	合計	27,735,873

福祉までのシームレスなサービスを提供してまいりました。主な事業として、設備改修や医療機器等の更新を行い、医療提供体制の充実を図りました。

病院経営に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症は、5月に感染症法上の5類となりましたが収束の兆しは見えず、変わらず厳しい経営状況となりましたが、公立病院の責務として継続して対応してまいりました。

令和6年3月に策定した「尾道市病院事業経営強化プラン」に従って、両院ともに、公立病院が担うべき役割・機能を明確化し、地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供するために、更なる医療提供体制の充実と経営の効率化を図り、地域の中核病院としての役割を果たしてまいります。

貸借対照表 R6.3.31現在 (単位:千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	11,780,291	固定負債	7,234,296
無形固定資産	1,970	流動負債	2,536,837
投資	458,982	繰延収益	1,657,706
流動資産	7,669,301	資本金	8,399,181
		資本剰余金	212,465
		利益剰余金	△129,941
		減積立金	438,000
		建設改良積立金	100,000
		当年度未処分利益剰余金	△667,941
		繰越利益剰余金	△467,336
		当年度純利益	△200,605
合計	19,910,544	合計	19,910,544